

  
  

# 読者のたより

頁をめくる(うむく)

大乘寺山主 東隆眞老師

石川県

拝啓 『成寿』 第四十五巻  
拝受いたしました。頁をめく  
るごとに先代老師の教えと声  
が聞こえてまいります。

育英会のこと継続していた  
だいてすばらしいありがたい  
ことです。拙僧が推薦したア  
ーダは金沢大学で医学博士  
の学位号を取得し、同大の専  
任教員となりました。めずら  
しいことです。ありがたいこ  
とです。

献本・御恵贈に感謝

迦葉山龍華院 羽仁素道老師

群馬県

御尊家益々ご隆昌にてご多  
用の毎日お過ごしの御事と拝  
察申し上げます。

今般は大変結構な『成寿』  
献本・御恵贈賜りご芳情衷心  
よりお礼申し上げます。  
時節柄くれぐれもお体ご慈  
愛下されご活躍お祈り申し上  
げます。  
いつもお心掛け頂きお礼申  
し上げます。

敬具

教学の糧にします

清水寺貫主 森清範様  
京都市

平素は当山に対し格別のご懇情を頂き 尚その上此度『成寿』第四十五巻を御恵贈下され誠に有難うございます 当山の貴重な蔵書として納め、教学の糧とさせて頂きたく寸書をもって御礼申し上げます 合掌



内容に感銘を

宮本延雄先生  
神奈川県

謹啓 時下年の瀬 御山内御一統様ご多忙のことと存じます。 このたび『成寿』を御恵贈賜りまして有難く感謝申し上げます。内容に感銘を受けました。先代の大圓武志大方丈もおよろこびと存じます。 合掌

「仏身充滿於法界」

蓮光寺住職 今泉源由老師  
埼玉県

拝啓 『成寿』四十五巻をご恵送下さりありがとうございます。 善光寺様の行持に、仏身充滿於法界、現成のお姿を感じ、黒田武志老師の可々大笑が聞こえてきそうです。 真にありがとうございます。 再拝

写真と文で生き生きと

神奈川県  
佐々木宏幹様

謹啓 年末の慌ただしいと  
きとなりました。本日『成寿』  
第四十五巻を拝受いたしました。  
巻を重ねるごとに内容が  
充実してきている観があり、  
編集の御苦労が伝わって参り  
ます。本号には先代御老師の  
お元氣なお姿、現董方丈様の  
御活動の様子が写真と文で生  
き生きと示されており、感銘  
を受けました。

博志様ほか御寺族の皆様  
の御健康と善光寺様の益々の御

発展を心より御祈念申し上げ  
ます。何卒佳き年をお迎え下  
さいますように

合掌

本山での修行の思い出を  
振り返っています

静岡県  
少林寺住職 井上貫道老師

拝復 此度は『成寿』第  
四十五号をお送り下さり故武  
志老師との本山当時の思い出  
を振り返っております。

山内の修行時の様子も手に  
とるように伝わって来ます。  
益々のご活躍を祈念申し上  
げ御礼とさせていただきます。

合掌

僧俗一体となって、  
先代さまの理念を

長野県  
石黒玄章師

冠省『成寿』四十五号拝  
受致しました。いつもお心掛  
けいただき感謝しております。  
今号も充実した内容で善光  
寺様が僧俗一体となって、先  
代さまの理念を博志住職はじ  
め皆で現わしておられる様子  
が紙面から伝わります。

どうぞ御慈愛されながら  
益々の寺門興隆をご祈念いた  
します。

第二子誕生おめでとうござ  
います。父としても互いに励

んで行きましたよ。

頓首

昨年十月、スリランカに  
小学校を開校

真清浄寺 吉田日光様  
東京都

冠省 南無妙法蓮華經

故黒田方丈の生きざまを手  
本にして自分なりに精進した  
結果、インドに別院と小学校  
を開校して、平成二十七年十  
月にはスリランカに小学校  
(いづれもボランティア)が  
できました。善光寺さまには  
心から感謝申し上げます。

前号に

「お袈裟のご縁」を寄稿

鈴木裕美様  
東京都

師走も後数日となりまし  
た。お忙しい日々と存じまし  
す。本年はいろいろとありがと  
うございました。

又、この度は『成寿』冬号  
お送りいただき誠にありがと  
うございます。私の拙文お恥  
ずかしいかぎりです。申し訳  
ありません。先回の号もお送  
りいただきまして十一月の福  
田会で横山さんにお渡しいた  
しました。すぐにお礼も申し  
上げず、失礼いたしました。

とても喜んでいただきました。

寒さの折、くれぐれもお大  
事に良きお年をお迎え下さい  
ませ。これからもよろしくお  
願い申し上げます。

ありがとうございます。

世界仏教交流センター

発願に感銘

早田(磯村) 啓子様  
東京都

前略 『成寿』四十五巻拝  
受しました。ありがとうございます  
いました。

先代方丈様が世界仏教交流  
センターを興したいと発願し  
ていらつしやったこと、本誌  
で知りました。すばらしいこ

とです。

どうぞ、皆様よいお年をお迎えてくださいませ。

『成寿』を世を送る手順に

千葉県  
岩崎 博様  
岩崎道枝様

寝耳に水と申しますが、今年も不意の出来事に驚きあわてた一年でございました。

一昨日は貴重な運勢暦等をご送付いただき誠にありがとうございました。来年もこれらを手順にさせていただきます世を送る手順でおります。

年々歳々花相似たり歳々年々人同じからずと申しま

す。私ごとき凡人には同じ道を辿るほかありません。ご指導のほどをお願いして筆を止めます。

表紙の伊藤三喜庵先生の  
仏画に時を忘れて

千葉県  
藤田正子様

本年も又、うれしいプレゼントが届きました。『成寿』第四十五巻です。

表紙の絵はやはり師であった伊藤三喜庵先生の美しい「仏画」です。

いつ見ても独特で、ユニークな作品にしばし時を忘れます。

御本の内容は年々豊かで頁数も多くなっているような気がいたしております。ますますの善光寺様の御発展にはつくづく感心させられます。御母堂様はいつも変わらずお若く御元気の御様子、皆様のますますの御幸福を心より御祈り申し上げます。私も更になんばろうと感じております。

今後とも拝読を望みます

千葉県  
原 國臣様

拝啓 盛夏の候、ますますご隆盛のことと大慶に存じます。

この度は季刊誌『成寿』の送付に快く応じていただき大変感謝しております。

我が家も曹洞宗で善光寺様にはお世話になっております。いずれ横浜にも居宅を構える予定ですので、今後共『成寿』を拝読させていただきますのですが、もしお手数でなければ発刊の際には送付して頂けたら大変感謝致します。今後共宜しくお願いいたします。



敬具

不動明王のご慈悲で  
頭痛が

神奈川県  
石黒通浩様

冠省 五月二十八日の例祭後のお忙しい中を初めて参拝させて頂いたにも拘わらず丁寧なる応対を頂き衷心より御礼申し上げます。

暦で知ってより四年目にして「不動明王」様から声がかかったのではと思っております。

又、おおげさかも知れませんが「冥応」を賜った気がいたします。と申しますのは参拝当日迄の約二ヶ月ほど、

朝・昼・夕と目覚める度に頭痛があり、このまま目が覚めねばと思ったこともしばしばありました。

ところが参拝した当日、帰宅して疲れで一眠りした後、いつもの頭痛がありません。アッ！「不動明王のご慈悲」と確信致しました。以後六月三日二十三時四十分までありません。

浜不動の

例祭に賜う冥応ぞ

誠にありがたく思っております。

合掌

早いうちに御礼参りをさせて頂きたいと思っております。

本当にありがとうございますました。

不尽

善光寺様を

我が家のお寺と

神奈川県  
中澤信子様

前略 『成寿』第四十五卷

お届けいただきありがとうございます。  
さっそく全体を通読させていただきます。

前ご住職のあとをつがれし  
っかりと法話されているご様子、ホッといたしました。檀家ではございませんが、故義母・父の引導をいただいた善光寺様を我が家のお寺と考

え、昨年には長女の葬儀もお願いをいたしております。つきましては、巻頭言あたりに新住職のお写真を掲載いただけると世代交代のお姿が伝わると思い、ペンをとりました。今後ともお世話になります。

かしこ

方丈様はじめ、皆様方のお心遣いに感謝

神奈川県  
鈴木一昭様

前略 日ましに暖かさを覚え、春めてまいりました。

この度は思いがけなく箱根温泉への御招待の栄をいただきましてありがとうございます

た。早速に、二月二十七、二十八日に、二男の運転で行ってまいりました。

その日は、朝から春らしい暖かいすばらしいお天気に乗れ若々しい緑の山々は美しく宿泊いたしました箱根パークス吉野では、気づかいのある美味しいお料理のおもてなしをいただき、温泉には三回も入るやら、日頃の慌ただしさを忘れて久しぶりにゆったりした時間を過ごすことができました。

これもすべて方丈様はじめ、皆様方のお心遣いの賜と感謝申し上げます。

末筆ながら善光寺様の益々

のご発展をお祈り申し上げ、  
お礼の言葉とさせていただきます。  
ます。

先代様の足のマッサージ  
をしたぬくもりを今でも

神奈川県  
谷口なか様

方丈様 倫子奥様

本日『成寿』が届き拝見さ  
せて頂きました。皆様の御様  
子がわかり、うれしい限りで  
す。私は何のお手伝いも出来  
ず、すごく申し訳なく想って  
おります。

旅行の思い出だけ大事に  
今でも「スリランカ」の旅行  
の帰りに待ち合いの所で先代

様の足のマッサージをしたぬ  
くもりを今でも感じておりま  
す。

写真掲載、感謝です

神奈川県  
飯塚征子様

前略 いつも大変お世話に

なっております。この度『成  
寿』冬季号その他をお送り頂  
きましてありがとうございます  
した。又、『成寿』四十五号  
十九頁に掲載して頂いた写真  
は私です。隣の方は旭区の沼  
倉みのもり様です。五頁の左三  
段目も私です。後方は沼倉様

で二段目のアイボリーの洋服  
をお召しの方は高橋様で、こ  
の方はやすらぎの郷の寺子屋  
で御一緒させていただいてお  
ります。

大勢の参拝者の中から掲載  
していただき誠にありがとうございます  
ございました。厚く御礼申し  
上げます。

早々

一生この眼に  
しかと焼き付けて

神奈川県  
玉那覇 明様

いつも大変お世話様になり  
ます。本年も宜しくお願い致  
します。



大本山總持寺大遠忌法要、

先代大圓武志大和尚、檀信徒各家先祖代々のご供養の法要に参座させて頂きましたこと、御本尊様の御前にていなませて頂きましたこと、一生この眼にしかと焼き付けさせて頂きました。この機会を頂戴しましたこと感謝に堪えません。

合掌

来年の節分は84歳、年男

神奈川県  
松本道男様

拝啓 先日の節分法要の際は大変お世話になりました。

来年は私も八十四歳の年男で、生きていけば（現在高血圧・糖尿病・高脂血症・腰痛を病んでおり、殆ど寝ております。また、最近視力も落ちて大きな活字きり読めません）節分に来年もお世話になります。今から十一年前、今は亡き先代の大圓武志和尚さんに言われて年男として縁台に立って豆をまいた記憶が

蘇ってきました。考えてみれば毎年節分法要に参加してきた訳で感慨無量なものがあります。数年前、ちゃんこをご馳走になり、相撲の魁聖関と記念写真を撮りました。今年はカメラを持参するのを忘れました。

別紙の通り、節分法要の下手な俳句を詠みましたのでご覧下さい。

尚、今から数年前、私の所属する結社の主宰から人間八十歳を過ぎると自分の句も纏められなくなるので今のうちに纏めておくようにと示唆され、高校時代から現在に至る六十年間の俳句約千句の中

から、三百句ほどに絞り句集『桜鯛』を百部上梓しました。当時お送りしましたが、ご覧いただけただでしょうか。

八十二歳（昨年）の春、体調を崩して入院もしましたが、元気なうちは頑張りますので、今後とも宜しく願います。

### 合掌

#### 節分法要

（成寿山横浜善光寺にて）

- ・ 節分会鉦と太鼓の響き合ふ
- ・ 節分会坊さんに和しお経読む
- ・ 節分に鬼より豆を貰いけり
- ・ 一升枥に達磨の並ぶ節分会
- ・ 文化財の獅子節分を狂ひ舞ふ

- ・ 舞ひ獅子に頭を噛まれ節分会
- ・ 節分に蝶々結び解きたり
- ・ 暗き闇引き裂くごとく

豆を撒く

- ・ 節分やおかめ躍れば

ひよっこも

- ・ 節分会解脱の豆を拾ひけり

（陸田同人・現代俳句協会会員）

#### さすが大和尚様のご子息

神奈川県

佐伯淳子様

今年は大先代住職大圓武志大和尚様の十三回忌との事、お元気でした頃の大和尚様のお姿を偲び、想い改めて心からご冥福をお祈り申し上げます。

大和尚様は、とても人徳にみちた慈愛深く、どなたからも敬愛されるお方でした。

いつも檀家の皆々様に数多くの尊い道徳心をお導き下さり、支え、接して下さっていたお姿を想い出して居ります。

その後、ご子息であります現住職様が引き継がれ、お父上様の心願をしつかり立派に引き継がれて居られるお姿にいつも、さすが大和尚様のご子息と感心、敬服しております。私達檀家もご住職並びに職員の皆々様と心を共にしてこれからもずっとお寺を守って参りたいと心して居るところでございます。どうか大和

尚様も善光寺を見守って下さるよう祈念致しております。

私事ですみませんが、今年

は私共の夫の二十三回忌でございます。夫亡き当時は大和尚様に大変暖かく接して頂き、その度は大変お世話になりました事、改めて想い起こしています。当時私共には事情あつて長いことお寺の納骨堂にお預けし、お世話になりました関係もあり、毎月夫の命日は一日もかかさずお寺参りをさせて頂きました折、いつも暖かくお声をかけて頂き、慰めや励ましの言葉の数々を頂き嬉しかったことな

ど、嬉しく今も忘れず感謝の気持ちで一杯でございます。

本当に本当にありがとうございますございました。

本日十三回忌にあたり改めて大和尚様の在りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

### 本当にダイナミックな方

富山県  
浅香 恵様

前略 『成寿』第四十五巻  
ありがとうございます。

実里様御誕生おめでとうございませう。亡き武志大和尚様も天国で喜びのことと存じ

ます。

アーカイブス「二十一世紀の使命」をなつかしく読ませていただきました。本当にダイナミックな方でした。尊敬しております。

私のほうは乳がんの再発もなく、無事に日々をすごさせていただき感謝しています。善光寺様の益々の御活躍、御発展をお祈り申し上げます。

### 御健康と御活躍を

お祈り申し上げます

早川祥賢様

冠省 『成寿』最新号を有

難く拝受しました。厚く御礼  
申し上げます。

御住職様はじめ皆様の一層  
の御健康と御活躍をお祈り申  
し上げます。

目からうるこの  
事ばかり

矢部絃子様

お正月の御札を送って頂き  
ありがとうございます。一年  
間大切にいたします。今回も  
ハハの都合により欠席させて  
いただきます。とても残念で  
す。又、年末御送り頂きまし  
た『成寿』にも、内容にとて  
も感銘を受けました。目から

うるこの事ばかりでした。仕  
事をしている時の肩に力が入  
っていた自分がなさけなくな  
ります。物事を正面から素直  
にとらえて見る事が大切な事  
と改めて感じました。  
切手は必要な時にどうぞ御  
使用下さい。

生き方のお手本

植芝弘子様

暖かくおだやかなお正月で  
ございましたが寒さも半ばと  
なりましてお寒さ厳しい日が  
続きます。

和尚様はじめ皆様お変わり

なくおすごしでございませ  
か。昨年はいへんお世話様  
になりました。送って下さい  
ございました。『成寿』の各記事が生  
き方のお手本となり励ましと  
なりまして、たいへん有難く  
存じております。

どうぞ本年もよろしくご指  
導をお願い申し上げます。

節分会は欠席させて頂きま  
すが、お札の申込みをさせて頂  
きます。申込みのはがきを  
同封いたしますのでよろしく  
お願い致します。お寒さ厳し  
い折柄どうぞお体を大切にお  
すごし下さいませ。かしこ

御活動の背景に

武志方丈様の壮大な思想

東京都

お名前なし

『成寿』御礼申し上げます。  
故武志方丈様の「二十一世紀の使命」を拝読致しました。  
エネルギーシユでリズム感のある文章を読むにつけ善光寺様の御活動の背景には武志方丈様の壮大な思想と信念が息づいていたと改めて思い知りました。

長泉寺水庭御住職の御法話は何事も飾らずに御自身の思いと御経験をそのまま素直に語っておられ感銘を受けまし

た。すなおな気持ちで私の行く末の一灯と想いました。  
皆々様の御活躍をお祈り致します。

西谷  
東京都  
榮様

前略 師走の日も幾日もな  
く早、今年も終わりになろう  
としておりますが、御寺様ご  
一同方々様にはお変わりござ  
いませんでしょうか。誠にお  
そくなりりましたが。



《絵手紙》

越石哲永様

善光寺留学僧育英会第三期  
生です。

脳梗塞を患うも善光寺講座  
「論語からのお話」に出席さ  
れるなど心身のリハビリに努  
め、毎月、心のこもった絵手  
紙を送って下さいます。



初夏、日ノ出屋石材店様より釈迦殿玄関に蓮を  
頂きました。お盆頃、見事に花を咲かせました。



## 編集後記

▼成寿四十六号お届け致します。

今号は二世中興大圓武志大和尚十三回忌法要を特集致しました。焼香師をお務め頂いた大乘寺山主東隆眞老師、正翁寺眞素明老師には、温かい御法語御挨拶を賜り厚く御礼申し上げます。在りし日の先代様が目に浮かび、感激致しました。また公私共御多用にも関わらず御随喜頂いた御寺院様、来賓の皆様、総代の皆様方、親戚縁者の皆様、準備にあたり色々とお手伝い頂いた山内の皆様にご心より感謝申し上げます。

▼また(株)板橋の皆様には客殿の準備などご尽力を賜りました。ありがとうございます。また▼春、京都清水寺への参拝、森清範殿下より心に響くご法話を賜りました。また道標『善光寺参道』の文字をご揮毫頂きました。ありがとうございます。▼秋彼岸には先代十三回忌予修法要を成願寺山口晴通老師にお務め頂き厳修致しました。六百名を越す檀信徒の皆様と一緒に読経。ありがとうございます。

▼今年先代様が未だ善光寺に居ますが如くにその存在感をあらためて感じた年となりました。檀信徒の皆さまはじめ多くのご縁に支えられて無事に十三回忌を迎える事が出来、心より深く御礼申し上げます。

▼先代方丈の『おもいやりの心』。平成十六年、翌年予定されていたハーバード大学での講演用に執筆していた原稿です。推敲前の未完原稿ですが熱い思いが伝わってきます。「いま世界は疲れています」冒頭の言葉はまさに現代への予見。人は疲れると自然と俯き背を丸め顔は下を向き、心はどんどん内向きになっていきます。世界各地で起きている民族や宗教の対立もこの思考からでしょうか。顔(面)を上げて(面倒がらずに)心を励まして、「おもいやりの心」を皆さまと共に広げていけたらと願います。

▼節分会。(株)板橋様に舞台を設置して頂き「祈禱と奉納演芸。幫間(ほうかん)芸の悠玄亭玉八師匠。巧みな話芸に笑ったり感心したりしているうちにアツという間に時間が経ちました。面白かったです。川島囃子保存会による獅子舞。笛と太鼓のリズムに大迫力の獅子舞でした。

▼最近テレビでも「マインドフルネス」という言葉が注目されています。(NHK「ガッテン」、日本テレビ系列「世界一受けた授業」など)ストレス軽減・認知症予防に効果がある瞑想法として紹介されています。坐禅とマインドフルネスの関係は？興味をもたれた方は是非坐禅会にお越し下さい。

▼坐禅会その他、写経会、書道・華道教室、論語講座、梅花教室、やすらぎ寺子屋など様々な行持を行い皆さまをお待ちしております。

▼来年一月九日は新年祈禱会です。皆様のご参詣心よりお待ちしております。

### 成寿 第四十六巻

平成二十八年十二月十日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野中央一丁目  
十二番九号

電話 〇四五(八四五)一三七一

FAX 〇四五(八四六)二〇〇〇

印刷所 (株)中外日報社

